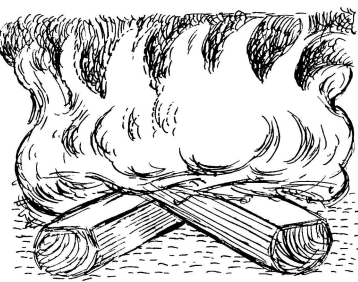


# 薪は一本では燃えない

野上 弥生子

この夏の雨がちな不順な天候で、七月になっても、山の家では日によればストーブをたかなければならない。もとより冬ごもりのように盛んに燃やしたての必要はなく、ほんの二、三本の薪を入れておけばよいが、その前に座ってとろとろしている赤い炎を眺めていると、雪の間にも時折考えられたことが、いっそうはつきり考えられる。それは、どんなよい薪でも一本では燃えない、ということである。この辺では、その秋に伐らした薪をすぐ使うのは不用意な、下手なやり方で、二年越し、三年越し枯らした薪をまず底に置いて、その上に、銚色にほんのり色づくほどに乾いた新しい薪を載せ



るのがいちばん火を強くし、長持ちをさせ、また、家をくすばない(壁などをすすけさせない)方法とされている。下積みの枯れきった太い丸太薪が、ごうごう音を立てて燃え盛るありさまは、一種原始的な喜びを見る者に与えるし、このごろの冷気ぐらひは、その一本の火力で十分暖まるのである。しかし、それつきりにしてほうっておけば、黒こげになったまま消えてしまい、も

う一度燃え上がらせるために、枯れ枝でもよい、また、細い薪でもよい、なにかしらとも燃えるものをそばに入れ添えなければならぬ。むしろ、枯れ枝ならささやかなものほど、細い薪なら細いほど燃焼を助ける。

一つの国、一つの社会、一つの集団、一つの家においても、同じ原理が働いていないであらうか。いかに有能、有力な中心人物が活躍したにしても、一人では事はできない。しかも最も必要なのは、取るにも足りないほど弱々しい力の加勢(かぜい)を手助けすること、助勢(かぜい)すること、すけだちすることである。

まことに、薪は一本では燃えない。

二学期には生徒会選挙もあります。三中の中堅、頑張れ!

## 次回の予定:8月17日(月)特別時程

### 【時程】

- 8:25 登校
- 8:30 学活
- 8:40 始業式(放送)
- 9:00 学活
- 9:40 月曜2校時の授業
- 10:40 月曜3校時の授業
- 11:50 避難訓練
- 12:20 学活、終了後下校

※給食は18日(火)から

### 【持ち物】

- ・通知表
- ・上履き
- ・白衣(一学期最後の給食当番)
- ・夏休みのしおり
- ・ぞうきん(2枚)

※夏休みの宿題

→夏休みのしおりで確認して提出すること(教科ごとに異なります)。

## さあ、夏休み!!

二年生へ進級してこの四ヶ月、45日間登校した一学期。二年生のみなさんは『三中の中堅(ちゅうけん)学年』として、どんなスタートダッシュをするかができましたか。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、行事や部活動が思うように立ち行かなくなりました。委員・係等々学校生活のあらゆる面で積極的に真剣に活動してくれたみなさんの姿は、とても頼もしく感じました。

明日から夏休みが始まります。この間、学習の補強に努める人、部活に打ち込む人、習い事や地域での活動に取り組む人と各自の目標は様々なはず。家族や地域のみなさんと、あるいは日頃会えない親せきの方々と時間を共有する機会も増えることでしょう。14歳の夏、16日間を有意義に自分自身ができる成長できるもの、良い夏休みを!